

公益財団法人東京都保健医療公社東部地域病院

〒125-8512 葛飾区亀有五丁目 1 4 番 1 号

[診療時間やアクセス方法等の情報はこちら](#)

保有する病棟と機能区分の選択状況（2020年（令和2年）年7月1日時点の機能）

病床の機能区分	病棟名									
高度急性期	ICU/CCU									
急性期	301病棟	302病棟	303病棟	304病棟	401病棟	402病棟	403病棟			
回復期										
慢性期										
休棟中、休棟後の再開の予定なし、休棟・廃止予定、無回答等										

保有する病棟と機能区分の選択状況（6年が経過した日における病床の機能の予定）

病床の機能区分	病棟名									
高度急性期	ICU/CCU									
急性期	301病棟	302病棟	303病棟	304病棟	401病棟	402病棟	403病棟			
回復期										
慢性期										
休棟中、休棟後の再開の予定なし、休棟・廃止予定、無回答等										
介護保険施設等へ移行予定										

（留意事項）

- 公表している項目の中には、診療報酬制度上で定められた診療行為の定義に従って集計した項目が多くありますが、その項目の解説については、医療関係者以外の方にも分かりやすい表現とする趣旨で記載しているため、診療報酬制度上の定義を詳細には記載していない場合があります。
- また、公表している項目の中には、個人情報保護の観点から、1以上10未満の値を「＊」で秘匿している項目があります。
- 「未確認」とされている情報は、未報告や報告内容の不整合があったことから確認が必要な情報になります。
- 施設全体の欄では、内容に「＊」、「未確認」とされている情報が含まれている場合に「※」を記載しています。
- 「-」とされている情報は、任意の報告項目や報告が不要となる場合、留意すべき報告対象期間について特段の情報がない場合に記載されています。

分野ごとの情報

◆基本情報（職員配置、届出の状況など）

- ・ [病床の状況](#)
- ・ [診療科](#)
- ・ [入院基本料・特定入院料及び届出病床数](#)
- ・ [DPC医療機関群の種類](#)
- ・ [救急告示病院、二次救急医療施設、三次救急医療施設の告示・認定の有無](#)
- ・ [承認の有無](#)
- ・ [診療報酬の届出の有無](#)
- ・ [職員数の状況](#)
- ・ [退院調整部門の設置状況](#)
- ・ [医療機器の台数](#)
- ・ [過去1年間の間に病棟の再編・見直しがあった場合の報告対象期間](#)

◆患者の入退院等の状況

- ・ [入院患者の状況（年間）](#)
- ・ [入院患者の状況（月間・年間／入棟前の場所・退棟先の場所の状況）](#)
- ・ [退院後に在宅医療を必要とする患者の状況](#)
- ・ [看取りを行った患者数](#)

◆医療内容に関する情報（手術、リハビリテーションの実施状況など）

- ・ [分娩](#)
- ・ [重症患者への対応状況](#)
- ・ [救急医療の実施状況](#)
- ・ [リハビリテーションの実施状況](#)

◆ 基本情報（職員配置、届出の状況など）

病床の状況

（項目の解説） 医療機関の病床（ベッド）は、法律（医療法）の許可を得た上で設置することとされており、許可を受けた病床のうち、過去 1 年間に実際に患者を受け入れた病床数（※）を稼働病床数として示しています。

なお、病室の広さは患者一人あたり 6.4 平方メートル以上と定められていますが、平成 13 年 3 月 1 日以前に許可を受けた医療機関は、6.4 平方メートル未満でも可とされており、医療法上の経過措置に該当する病床として扱われます。

また医療法では、病床のうち、主として長期にわたり療養を必要とする患者が入院するための病床を療養病床と呼んで区分しています。

療養病床の中には、医療保険を適用した医療サービスを提供するのではなく、介護保険を適用した介護サービスを提供する病床もあります。前者は医療療養病床、後者は介護療養病床と呼んでいます。（※）過去 1 年間に最も多く患者を収容した時点で使用した病床数と定義して算出。

		施設全体	301病棟	302病棟	303病棟	304病棟	401病棟	402病棟	403病棟	ICU/CCU
		急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	高度急性期機能
一般 病床	許可病床	314床	45床	43床	41床	43床	46床	45床	45床	6床
	上記のうち医療法上の経過措置に該当する病床数	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	稼働病床	314床	45床	43床	41床	43床	46床	45床	45床	6床
療養 病床	許可病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	うち医療療養病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	うち介護療養病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	稼働病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	うち医療療養病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	うち介護療養病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床

[TOPへ戻る](#)

診療科

(項目の解説)		主とする診療科は、5割以上の患者を診療している診療科を示しています。5割を超える診療科がない場合は、上位3つの診療科を示しています。									
(病棟名)											
(機能区分)		301病棟	302病棟	303病棟	304病棟	401病棟	402病棟	403病棟	ICU/CCU		
主とする診療科		婦人科	消化器外科（胃腸外科）	複数の診療科で活用	泌尿器科	複数の診療科で活用	複数の診療科で活用	複数の診療科で活用	循環器内科		
	複数ある場合、上位3つ	-	-	小児科	-	循環器内科	消化器内科（胃腸内科）	消化器内科（胃腸内科）	-		
		-	-	消化器外科（胃腸外科）	-	消化器内科（胃腸内科）	呼吸器内科	眼科	-		
		-	-	小児外科	-	内科	内科	呼吸器内科	-		

入院基本料・特定入院料及び届出病床数

(項目の解説)		入院基本料・特定入院料とは、入院時の基本料金に該当する点数ですが、種類によっては基本料金だけでなく、一定の検査や薬の費用などが包括されている場合もあります。病床を利用する患者の状態や職員の配置状況に応じて入院 1 日あたりの点数が設定されていて、様々な区分があります。 この項目は、医療機関において、どの入院基本料・特定入院料の病床がいくつ設定されているか（届出病床数）を示します。									
		(病 棟 名)									
		301病棟	302病棟	303病棟	304病棟	401病棟	402病棟	403病棟	ICU/CCU		
(機能区分)		急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	高度急性期機能		
算定する入院基本料・特定入院料		急性期一般入院料 1	急性期一般入院料 1	急性期一般入院料 1	急性期一般入院料 1	急性期一般入院料 1	急性期一般入院料 1	急性期一般入院料 1	特定集中治療室管理料 3		
届出病床数		45床	43床	41床	43床	46床	45床	37床	6床		
病室単位の特定入院料		-	-	小児入院医療管理料 4	-	-	-	-	-		
届出病床数		0床	0床	16床	0床	0床	0床	0床	0床		
病室単位の特定入院料		-	-	-	-	-	-	-	-		
届出病床数		0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床		
介護療養病床において療養型介護療養施設サービス費等の届出あり		0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床		

[TOPへ戻る](#)

DPC医療機関群の種類

(項目の解説)		施設全体
DPC医療機関群の種類	DPC制度とは、急性期の入院医療を担う医療機関において、患者に対し、入院日数に応じた1日あたり定額の医療費を請求する制度です。この項目は、DPC制度の対象となる病院の特性を示すもので、特性や疾患等に応じて1日あたりの医療費の設定が異なります。Ⅰ群が大学病院本院、Ⅱ群が大学病院本院に準じる病院、Ⅲ群がそれ以外の病院であることを示します。	D P C 標準病院群

救急告示病院、二次救急医療施設、三次救急医療施設の告示・認定の有無

(項目の解説)		施設全体
救急告示病院の告示の有無	DPC制度とは、急性期の入院医療を担う医療機関において、患者に対し、入院日数に応じた1日あたり定額の医療費を請求する制度です。この項目は、DPC制度の対象となる病院の特性を示すもので、特性や疾患等に応じて1日あたりの医療費の設定が異なります。Ⅰ群が大学病院本院、Ⅱ群が大学病院本院に準じる病院、Ⅲ群がそれ以外の病院であることを示します。	有
二次救急医療施設の認定の有無		有
三次救急医療施設の認定の有無		無

承認の有無

(項目の解説)		施設全体
特定機能病院の承認の有無	特定機能病院とは、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力を備えた病院として、厚生労働大臣が承認した病院をいいます。	無
地域医療支援病院の承認の有無	地域医療支援病院とは、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じて、第一線の地域医療を担うかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する能力を備え、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備等を有する病院として、都道府県知事が承認した病院をいいます。	有

診療報酬の届出の有無

(項目の解説)		施設全体
総合入院体制加算の届出の有無	総合入院体制加算とは、十分な人員配置および設備等を備え総合的かつ専門的な急性期医療を24時間提供できる体制等を確保している病院のことです。	届出無し
在宅療養支援病院の届出の有無	在宅療養支援病院とは、24時間往診が可能な体制を確保し、また訪問看護ステーションとの連携により24時間訪問看護の提供が可能な体制を確保している病院のことです。	無
在宅療養後方支援病院の届出の有無	在宅療養後方支援病院とは、在宅医療を受けている患者の急変時に備え、緊急入院を受け入れるための病床を確保している病院です。	有

職員数の状況

(項目の解説) 職員数は、医療機関内の各部門に配置されている職員数です。

(参考) 理学療法士

座る、立つ、歩くなどの基本動作ができるように、身体的基本的機能の回復をサポートするリハビリテーションの専門職です。筋力や関節可動域などの身体機能を改善する運動療法を行ったり、温熱、光線、電気などを用いて、痛みや循環の改善を図る物理療法を行ったりします。

(参考) 作業療法士

指を動かす、食事をするなど日常生活を送る上で必要な諸機能の回復・維持をサポートするリハビリテーションの専門職です。作業療法的手段には、土木、陶芸、園芸、織物、料理、手芸、絵画、音楽などがあり、個人あるいは集団で行います。

(参考) 言語聴覚士

上手く話せない、声が出にくいなどのコミュニケーションや、食べ物を飲み込むなどの能力に問題が生じている場合に、その回復をサポートするリハビリテーションの専門職です。障害が起こっているメカニズムを明らかにし、対処法を探るために検査、評価し、必要に応じて訓練やアドバイスをを行います。

(診療放射線技師)

放射線を利用した病気の検査や治療を行う専門職です。検査や治療の種類は、胸の撮影、バリウムによる胃の撮影、CT検査、血管撮影、乳房撮影、放射性医薬品による検査や放射線治療などがあります。また、MRI検査や超音波検査等の放射線を利用しない検査も行います。

(臨床検査技師)

身体の状態を血液、尿などから調べる検体検査や心電図検査、脳波検査及び超音波検査など身体に直接触れて行う生理学的検査など、病気の診断や治療等に必要な臨床検査を行う専門職です。検査に必要な採血や検体採取を行ったり、適正な検査結果が出るように精度管理を実施しています。

(病棟名)

(機能区分)

		施設全体	301病棟	302病棟	303病棟	304病棟	401病棟	402病棟	403病棟	ICU/CCU
			急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	高度急性期機能
医師	常勤	51人								
	非常勤	26.0人								
歯科医師	常勤	0人								
	非常勤	0.0人								
看護師	常勤	195人	27人	25人	26人	26人	26人	21人	20人	24人
	非常勤	5.9人	0.0人	1.9人	1.7人	0.6人	0.0人	1.7人	0.0人	0.0人
准看護師	常勤	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
看護補助者	常勤	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤	24.0人	4.6人	3.3人	3.4人	3.4人	3.3人	3.3人	2.7人	0.0人
助産師	常勤	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
理学療法士	常勤	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
作業療法士	常勤	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
言語聴覚士	常勤	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人

薬剤師	常勤	7人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
診療放射線技師	常勤	14人								
	非常勤	3.8人								
臨床検査技師	常勤	8人								
	非常勤	8.3人								
臨床工学技士	常勤	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
管理栄養士	常勤	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人

		病棟以外の部門		
		手術室	外来部門	その他
看護師	常勤	19人	17人	24人
	非常勤	1.4人	22.5人	3.0人
准看護師	常勤	0人	0人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人	0.0人
看護補助者	常勤	0人	0人	0人
	非常勤	1.9人	0.0人	0.0人
助産師	常勤	0人	0人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人	0.0人
理学療法士	常勤	0人	3人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人	0.0人
作業療法士	常勤	0人	1人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人	0.0人
言語聴覚士	常勤	0人	1人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人	0.0人
薬剤師	常勤	0人	6人	0人
	非常勤	0.0人	4.1人	0.0人
臨床工学技士	常勤	0人	4人	0人
	非常勤	0.0人	0.0人	0.0人
管理栄養士	常勤	0人	5人	0人
	非常勤	0.0人	1.8人	0.0人

退院調整部門の設置状況

			(項目の解説)	施設全体
退院調整部門の有無			退院調整部門とは、退院先の検討や、退院後に必要な訪問診療や訪問看護、介護サービスの紹介等を行う専門部署です。この項目は、そうした部門の設置状況と、そこで勤務する職員の人数を示します。	有
退 院 調 整 部 門 に 勤 務 す る 人 数	医師	専従	(参考) M S W (メディカルソーシャルワーカー)	0人
		専任		0.0人
	看護職員	専従		0人
		専任		4.0人
	MSW	専従		1人
		専任		2.0人
	MSWのうち社会福祉士	専従		1人
		専任		2.0人
	事務員	専従		0人
		専任		0.0人
	その他	専従		0人
		専任		0.0人

医療機器の台数

(項目の解説)				施設全体
C T	マルチスライス	64列以上	CTは、X線（放射線）を使って、身体の断面を撮影する装置です。列の数が多いほど、同じ範囲をより短時間、より細かく撮影することができます。値は医療機関が保有する台数です。	1台
		16列以上64列未満		0台
		16列未満		0台
	その他			0台
M R I	3T以上		MRIは、主に磁気を利用して、身体の断面を撮影する装置です。T（テスラ）は、磁気の強さを表す単位で、値が大きいほど高画質の画像が得られます。値は医療機関が保有する台数です。	0台
	1.5 T 以上3 T 未満			1台
	1.5 T 未満			0台
そ の 他	血管連続撮影装置		血管連続撮影装置は、X線では映らない、血管の状態を撮影するための装置です。値は医療機関が保有する台数です。	2台
	SPECT		SPECTは、特殊な薬剤を注射したあとに撮影することで、体のなかの血液の分布を調べる装置です。とくに、脳血管障害や心疾患の診断に用いられます。値は医療機関が保有する台数です。	2台
	PET			0台
	PETCT		PETCTは、診断の精度を向上させるためにPETとCTを組み合わせた装置です。値は医療機関が保有する台数です。	0台
	PETMRI		PETMRIは、診断の精度を向上させるためにPETとMRIを組み合わせた装置です。値は医療機関が保有する台数です。	0台
	ガンマナイフ		ガンマナイフは、脳に精密に放射線を集中照射する装置です。値は医療機関が保有する台数です。	0台
	サイバーナイフ		サイバーナイフは、腫瘍にロボットアームで集中的に放射線を照射する装置です。値は医療機関が保有する台数です。	0台
	強度変調放射線治療器		強度変調放射線治療器は、腫瘍に正確に放射線を照射する装置です。値は医療機関が保有する台数です。	0台
	遠隔操作式密封小線源治療装置		遠隔操作式密封小線源治療装置は、体の内側から放射線を照射する機能を持つ装置です。値は医療機関が保有する台数です。	0台
	内視鏡手術用支援機器（ダヴィンチ）		内視鏡手術用支援機器（ダヴィンチ）は、内視鏡カメラとロボットアームを操作して手術を行う手術支援ロボットです。値は医療機関が保有する台数です。	0台

[TOPへ戻る](#)

過去1年間の間に病棟の再編・見直しがあった場合の報告対象期間

(項目の解説)	病棟の再編・見直しがあった場合の報告対象期間は、令和元年7月1日～令和2年6月30日の期間内に病棟の再編・見直しを行ったことで、過去1年間分の状況を報告することが困難な場合に、令和2年7月1日時点の病棟単位で報告が可能な過去の期間です。								
(病 棟 名)	301病棟	302病棟	303病棟	304病棟	401病棟	402病棟	403病棟	ICU/CCU	
(機能区分)	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	高度急性期機能	
過去1年間の間に病棟の再編・見直しがあった場合の報告対象期間	-	-	-	-	-	-	-	-	

◆患者の入退院等の状況

入院患者の状況（年間）

(項目の解説)		1年間の入院患者の状況は、令和元年7月1日から令和2年6月30日までに入院、退院した患者数を示す項目です。								
		(病 棟 名)								
		施設全体	301病棟	302病棟	303病棟	304病棟	401病棟	402病棟	403病棟	ICU/CCU
(機能区分)			急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	高度急性期機能
新規入棟患者数（年間）		8,522人	1,068人	1,231人	1,528人	1,182人	1,095人	1,027人	978人	413人
	うち予定入院の患者・院内の他病棟からの転棟患者	5,461人	832人	862人	732人	735人	789人	665人	610人	236人
	うち救急医療入院の予定外入院の患者	1,475人	170人	158人	141人	237人	204人	181人	222人	162人
	うち救急医療入院以外の予定外入院の患者	1,586人	66人	211人	655人	210人	102人	181人	146人	15人
在棟患者延べ数（年間）		67,508人	10,931人	9,563人	8,462人	10,487人	9,567人	9,416人	8,150人	932人
退棟患者数（年間）		7,254人	825人	996人	1,230人	932人	930人	928人	1,000人	413人

入院患者の状況（年間／入棟前の場所・退棟先の場所の状況）

(項目の解説)			年間の入院患者の状況は、令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間に入院を受け入れた患者の入院前の場所、退院した患者の退院先の場所を示す項目です。								
			(病 棟 名)								
			施設全体	301病棟	302病棟	303病棟	304病棟	401病棟	402病棟	403病棟	ICU/CCU
(機能区分)				急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	高度急性期機能
年間	新規入棟患者数（年間）		8,522人	1,068人	1,231人	1,528人	1,182人	1,095人	1,027人	978人	413人
	入 棟 前 の 場 所	うち院内の他病棟からの転棟	965人	60人	90人	65人	77人	294人	81人	65人	233人
		うち家庭からの入院	7,373人	988人	1,127人	1,447人	1,068人	779人	909人	883人	172人
		うち他の病院、診療所からの転院	70人	10人	3人	7人	16人	11人	9人	12人	2人
		うち介護施設、福祉施設からの入院	114人	10人	11人	9人	21人	11人	28人	18人	6人
		うち介護医療院からの入院	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち院内の出生	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		その他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	退棟患者数（年間）		7,254人	825人	996人	1,230人	932人	930人	928人	1,000人	413人
	退 棟 先 の 場 所	うち院内の他病棟へ転棟	965人	36人	117人	68人	87人	154人	36人	77人	390人
		うち家庭へ退院	5,721人	673人	842人	1,127人	753人	702人	785人	839人	0人
		うち他の病院、診療所へ転院	312人	100人	18人	23人	55人	39人	39人	27人	11人
		うち介護老人保健施設に入所	29人	6人	2人	0人	3人	8人	6人	4人	0人
		うち介護老人福祉施設に入所	24人	0人	0人	0人	10人	2人	3人	9人	0人
		うち介護医療院に入所	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち社会福祉施設・有料老人ホーム等に入所	58人	5人	1人	2人	11人	7人	22人	10人	0人
		うち終了（死亡退院等）	144人	4人	16人	10人	13人	18人	37人	34人	12人
		その他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

退院後に在宅医療を必要とする患者の状況

(項目の解説)		退院後に在宅医療を必要とする患者の状況は、令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間に退院した患者に対する、在宅医療の提供の必要性に関する項目です。									
		(病 棟 名)	施設全体	301病棟	302病棟	303病棟	304病棟	401病棟	402病棟	403病棟	ICU/CCU
(機能区分)			急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	高度急性期機能
退院患者数（年間）		7,254人	825人	996人	1,230人	932人	930人	928人	1,000人	413人	
退院後 1 か月以内に自院が在宅医療を提供する予定の患者数		2人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
退院後 1 か月以内に他施設が在宅医療を提供する予定の患者		264人	20人	15人	14人	41人	46人	82人	46人	0人	
退院後 1 か月以内に在宅医療を必要としない患者（死亡退院含む）		6,018人	764人	864人	1,148人	803人	730人	809人	877人	23人	
退院後 1 か月以内に在宅医療の実施予定が不明の患者		5人	3人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	

看取りを行った患者数

※在宅療養支援病院の届出を行っている病院のみが報告する事項です。

(項目の解説)		施設全体
直近 1 年間で在宅療養を担当した患者のうち、医療機関以外での看取り数 (年間)	看取りとは、患者の死期まで見守り臨終に付きそうことをいいます。値は、令和元年7月1日から令和2年6月30日までの1年間に在宅療養を担当し、看取りまで支援した患者について、その看取りを行った場所や数を示しています。	0人
うち自宅での看取り数		0人
うち自宅以外での看取り数		0人
直近 1 年間で在宅療養を担当した患者のうち、医療機関での看取り数 (年間)		0人
うち連携医療機関での看取り数		0人
うち連携医療機関以外での看取り数		0人

[TOPへ戻る](#)

◆医療内容に関する情報（手術、リハビリテーションの実施状況など）

分娩

(項目の解説)	分娩件数は、分娩を行った患者数です。								
(病 棟 名)	施設全体	301病棟	302病棟	303病棟	304病棟	401病棟	402病棟	403病棟	ICU/CCU
(機能区分)		急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	高度急性期機能
分娩件数（正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0	0

重症患者への対応状況

(病 棟 名)	301病棟	302病棟	303病棟	304病棟	401病棟	402病棟	403病棟	ICU/CCU		
(機能区分)	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	高度急性期機能		
(項目の解説)	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合は、医療・看護処置の必要性（A得点）や身体機能の状況（B得点）、手術等の医学的状況（C得点）を共通の評価票を用いて評価しています。割合が高いほど、必要な医療処置やケアの程度が高い患者が多いことを示します。									

「急性期一般入院基本料」、「地域一般入院料 1」、「専門病院入院基本料」、「特定機能病院入院基本料」、「脳卒中ケアユニット入院医療管理料」、「特定一般病棟入院料（注 7 以外）」、「看護必要度加算」、「一般病棟看護必要度評価加算」、「急性期看護補助体制加算」、「看護職員夜間配置加算」、「看護補助加算 1」の届出を行っている場合における、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合										
A得点 1 点以上の患者割合	30.9%	49.4%	40.4%	49.4%	50.2%	48.6%	92.4%	0.0%		
A得点 2 点以上の患者割合	21.6%	41.6%	30.5%	37.3%	23.0%	30.4%	55.4%	0.0%		
A得点 2 点以上かつB得点 3 点以上の患者割合	13.8%	10.1%	12.3%	19.9%	13.0%	14.9%	37.0%	0.0%		
A得点 3 点以上の患者割合	13.4%	22.2%	13.0%	18.4%	12.1%	14.1%	29.3%	0.0%		
C得点 1 点以上の患者割合	37.9%	17.3%	19.1%	14.3%	17.5%	9.6%	0.0%	0.0%		
「B14」又は「B15」に該当する患者であって、A 得点 1 点以上かつB得点 3 点以上の患者割合	2.9%	2.9%	1.3%	9.3%	6.7%	2.2%	29.3%	0.0%		
「A 得点 2 点以上かつ B 得点 3 点以上」または「A 得点 3 点以上」または「C 得点 1 点以上」または「B14」又は「B15」に該当する患者であって、A 得点 1 点以上かつB得点 3 点以上」の患者割合	47.6%	34.3%	28.9%	38.9%	34.0%	29.2%	52.2%	0.0%		

「地域包括ケア病棟入院料」、「地域包括ケア入院医療管理料」、「特定一般病棟入院料の注 7」の届出を行っている場合における、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合										
A得点 1 点以上の患者割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
A得点 2 点以上の患者割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
A得点 2 点以上かつB得点 3 点以上の患者割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
A得点 3 点以上の患者割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

C得点 1 点以上の患者割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
「B14」又は「B15」に該当する患者であって、A 得点 1 点以上かつB得点 3 点以上の患者割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
「A 得点 2 点以上かつB 得点 3 点以上」または「A 得点 3 点以上」または「C 得点 1 点以上」または「「B14」又は「B15」に該当する患者であって、A 得点 1 点以上かつB得点 3 点以上」の患者割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
「総合入院体制加算」の届出を行っている場合における、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合											
A得点 1 点以上の患者割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
A得点 2 点以上の患者割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
A得点 2 点以上かつB得点 3 点以上の患者割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
A得点 3 点以上の患者割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
C得点 1 点以上の患者割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
「B14」又は「B15」に該当する患者であって、A 得点 1 点以上かつB得点 3 点以上の患者割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
「A 得点 2 点以上かつB 得点 3 点以上」または「A 得点 3 点以上」または「C 得点 1 点以上」または「「B14」又は「B15」に該当する患者であって、A 得点 1 点以上かつB得点 3 点以上」の患者割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

救急医療の実施状況

(項目の解説)		施設全体
休日に受診した患者延べ数（年間）	休日に受診した患者延べ数は、休日（日曜、祝日、年末年始）に受診した患者数と、そのうち診療後にただちに入院が必要となった患者数です。	2,121人
うち診療後直ちに入院となった患者延べ数		411人
夜間・時間外に受診した患者延べ数（年間）	夜間・時間外に受診した患者延べ数は、夜間・時間外（医療機関が表示する診療時間以外の時間（休日を除く））に受診した患者数と、そのうち診療後にただちに入院が必要となった患者数です。	4,183人
うち診療後直ちに入院となった患者延べ数		898人
救急車の受入件数（年間）	救急車の受入件数は、救急車や救急医療用ヘリコプター等により搬送され受け入れた患者数です。	3,292件

リハビリテーションの実施状況

(項目の解説)		施設全体
体制強化加算1又は2（回復期リハビリテーション病棟入院料）の届出の有無	体制強化加算は、患者の早期の機能回復や退院を促進するために、専門の医師や社会福祉士を配置していることを示す項目です。値はこうした病棟に入院している患者数です。	
リハビリテーションを実施した患者の割合	リハビリテーションを実施した患者の割合は、入院患者のうち、疾患や状態に応じたリハビリテーションが実施された患者の割合です。	
平均リハビリテーション単位数（1患者1日当たり）	平均リハビリテーション単位数は、上記の患者に対し行ったリハビリテーションの平均的な量を示す値です。20分実施した場合を1単位とみなします。	
過去1年間の総退院患者数	過去1年間の総退院患者数等は、令和元年7月1日～令和2年6月30日までの1年間に、退院した患者の数と、日常生活機能評価に応じた患者の数です。	
うち入院時の日常生活機能評価10点以上の患者数	日常生活機能評価とは、寝返り、起き上がりなど日常生活で行う基本的な動作について、「自分でできる」「できない」を評価する指標です。自力での動作が難しいほど、点数が高くなります。	
うち、機能的自立度評価法（FIM）得点で55点以下の患者数		
うち退院時の日常生活機能評価が、入院時に比較して3点以上（※）改善していた患者数 ※回復期リハビリテーション病棟入院料1又は2の場合は4点以上		
うち、FIM総得点で12点以上（回復期リハビリテーション病棟入院料1又は2の場合には16点以上）改善していた患者数		
回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数【令和2年1月1日～6月30日の6か月間】	認回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数、実績指数等は、令和2年1月から6月までの6か月間に退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数と、回復期リハビリテーションの実績指数です。	
うちリハビリテーション実績指数の計算対象とした患者数【令和2年1月1日～6月30日の6か月間】		
リハビリテーション実績指数【令和2年1月1日～6月30日の6か月間】	実績指数とは、回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションの提供実績を評価する指標で、提供実績を有するほど、数値が高くなります。	

(病棟名) (機能区分)	301病棟	302病棟	303病棟	304病棟	401病棟	402病棟	403病棟	ICU/CCU		
	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	高度急性期機能		
体制強化加算1又は2（回復期リハビリテーション病棟入院料）の届出の有無	-	-	-	-	-	-	-	-		
リハビリテーションを実施した患者の割合	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
平均リハビリテーション単位数（1患者1日当たり）	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
過去1年間の総退院患者数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
うち入院時の日常生活機能評価10点以上の患者数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
うち、機能的自立度評価法（FIM）得点で55点以下の患者数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
うち退院時の日常生活機能評価が、入院時に比較して3点以上（※）改善していた患者数 ※回復期リハビリテーション病棟入院料1又は2のうち、FIM総得点で12点以上（回復期リハビリテーション病棟入院料1又は2の場合には16点以上）改善していた患者数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数【令和2年1月1日～6月30日の6か月間】	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
うちリハビリテーション実績指数の計算対象とした患者数【令和2年1月1日～6月30日の6か月間】	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
リハビリテーション実績指数【令和2年1月1日～6月30日の6か月間】	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		

[TOPへ戻る](#)